



持続的な成長のための基盤

IDECグループでは、営業活動を通じて約70億円のキャッシュを生み出しています。グローバルな事業活動を通じて創出したキャッシュを、設備や研究開発、人的資本のための投資や、株主還元などに活用することで、持続的な成長や企業価値向上の実現を目指しています。

より詳細な情報については、IDECサイトの株主・投資家情報ページをご覧ください。

<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/ir>



関連するマテリアリティ



生産性向上



企業基盤

- 創業以来、IDECグループが培った制御技術、製品、システムソリューションの提供を通して、自社および世界中の顧客・社会の生産性、効率性の向上に貢献
- ディーセント・ワークやダイバーシティ&インクルージョン推進、人的資本の強化による、新たな価値やイノベーションを創造する人材の育成

収益性・資本効率の向上に向けた財務戦略の推進

収益性向上	さまざまな改革によるさらなる営業利益率向上を実現
資本効率向上	資本効率を向上させ10%以上のROE・ROICを確保

IDECグループでは、資本コストを上回るリターンを創出し、企業価値を向上していくために、ROEとROICを指標としており、継続的に10%以上の水準を確保することを目指しています。

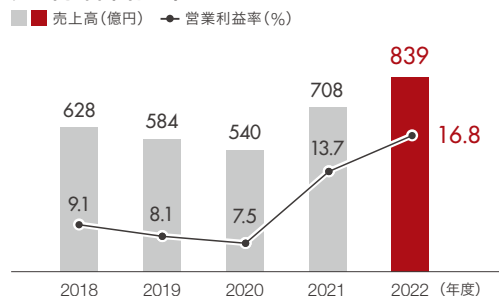
2022年度は、グローバルで売上高が拡大したことに加え、中期経営計画のKPIにしている営業利益率の向上に向けて、販売価格の適正化や、生産の自動化・効率化を推進することで原価率を低減するとともに、販売管理費を適切に管理することで経営体質の強化を進めてきました。

またROE、ROICをさらに向上していくためには、収益性だけでなく資本効率の向上が必要になることから、製品の統廃合や不採算製品の見直し、グローバルでの拠点再編に関わ

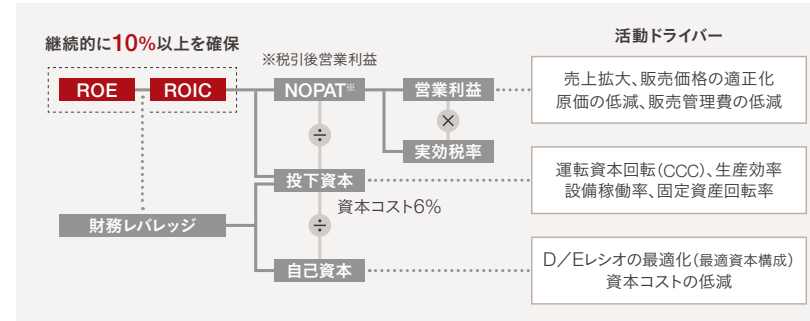
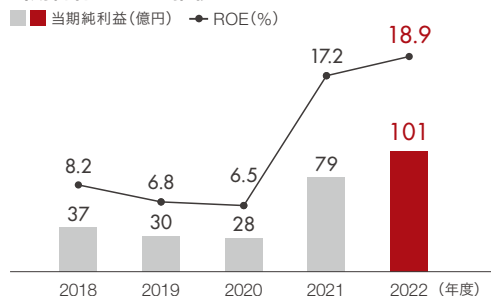
る固定資産の適正化、今後の改革につながる積極的な投資拡大、キャッシュマネジメントなどを行うことで、2022年度のROEは18.9%、ROICは12.5%となりました。

継続的に想定資本コスト6%を上回るよう、運転資本、生産設備など資本効率の向上を進めていくとともに、さらなる収益性の向上を実現するためにグローバルでの組織改革を行い、抜本的なコスト低減を進めていける体制づくりを行っていきます。

売上高・営業利益率



当期純利益・ROE推移



財務資本

株主還元方針

好調な事業環境を背景とした売上高の拡大や事業効率の向上により、長期的なトレンドとして営業キャッシュ・フローは拡大しています。グローバルでの競争力強化のために必要となる、設備投資や研究開発などの資金は確保しつつ、株主の皆さまに継続的かつ安定的な配当を行っています。配当性向は30%~50%と高水準を維持しており、2022年度は37.3%となりました。また、株価水準を踏まえて自己株式の取得も機動的に行っており、2021年度は100万株、25億円取得しました。

今後も、中長期的な企業の成長のために必要となる各種投資は積極的に行いつつ、事業活動によって得られた利益については、株主の皆さまに還元することで、株主価値の向上を図っていきます。

さらなる成長の実現に向けた投資戦略

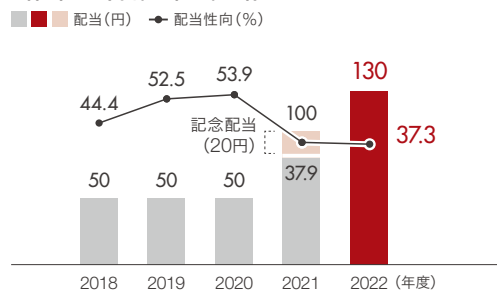
IDECグループでは、今後グローバルでの事業拡大を加速していくために、成長投資の拡大を図っています。M&Aやアライアンスについては、既存事業とのシナジー効果が見込める分野や地域を中心に、IDECの強みを最も活かせるHMI・安全分野や、今後市場拡大が期待できるAGV・AMR業界、ソリューション展開を強化していくために必要となる、ソフトウェアやエンジニアリングなどにおいて検討を進めています。人的資本に関しては、事業革新を推進していくことができるDX人材や、お客さまの課題に対して最適なソリューションを提案できる高い専門的知識を持った人材の採用・育成に加え、社員一人ひとりの研修・教育費用の拡大などを推進していきます。サステナビリティ投資につい

ては、国内外のオフィス・工場への太陽光発電設備の設置、環境負荷低減に向けた環境配慮強化型製品比率の向上、環境に配慮した素材の応用研究などを行っています。

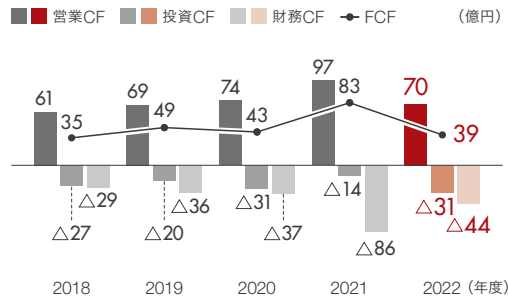
設備投資では、グローバル拠点の最適化や自動化・省力化設備の導入、ITインフラ強化などの継続的な取り組みに加え、全社の効率性向上やグローバルでのサプライチェーンマネジメントに欠かすことのできない、ERP、SCPのグローバル導入などDX推進にも注力しています。

長期的な視点での成長投資と株主還元を拡大することで、ステークホルダーの皆さまの期待に応えていきます。

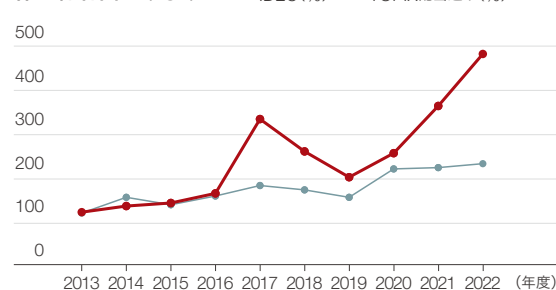
1株当たり年間配当金・配当性向



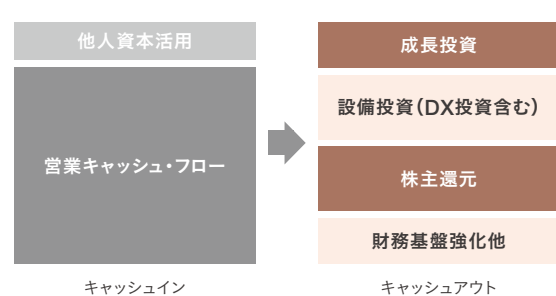
キャッシュ・フロー推移



株主総利回り (TSR)



キャピタル・アロケーション (2024年度)



中長期的な成長に向けた積極的な投資

課題	中期経営計画
成長投資	<ul style="list-style-type: none"> ● M&A・アライアンス投資 <ul style="list-style-type: none"> 安全分野、AGV業界、ソフトウェア、エンジニアリング強化に向けたM&A、アライアンス 中国、インドにおけるパートナーシップ強化 ● 新製品投資 <ul style="list-style-type: none"> New HMI・安全分野への積極投資 ● 人的投資 <ul style="list-style-type: none"> 研修・教育費用の拡大、グローバル人材開発投資 ● サステナビリティ投資 <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備の設置、省エネ空調設備への入れ替え、環境に配慮した製品開発、環境に配慮した素材の応用研究
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点・設備 <ul style="list-style-type: none"> 生産拠点増設、自動化・省力化設備の導入、拠点最適化 ● DX投資 <ul style="list-style-type: none"> ERPの刷新、グローバルSCP導入、タレントマネジメントシステム整備
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> ● 還元政策 <ul style="list-style-type: none"> 配当性向30%~50%での積極的な配当、株価水準も踏まえた機動的な自社株取得の実施